

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	物流・産業	27年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 管理課長
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	成果	コスト			
事務事業名	西部地区(第2貯木場)都市機能等用地整備事業	延伸	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7922 <small>事業推進課、工事課、港湾工事事務所</small>
目的	対象(誰・何を)	第2貯木場			事業 期間	平成14~28年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	埋め立てを行い、企業進出用地(分譲地)として整備します。				
概要	整備場所:愛知県海部郡飛島村(飛島ふ頭) 内容・規模:飛島ふ頭第2貯木場の埋め立て及び保管施設用地整備(面積13.9ha) 工事費:20億円 事業手法:起債事業・単独事業				根拠 法令等	公有水面埋立法 港湾整備促進法 名古屋港湾計画
事業着手時点の 評価	保管施設用地として用地造成を行うことにより、13.6haの分譲が可能となり、飛島ふ頭において不足するコンテナ関連用地に対応します。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
28年度の実施予定	分譲地の利便性を高めるため、引き続き、仮設道路の整備を行います。				関連 シート	西部地区(第1・2貯木場)埋立地の売却

2 DO(実施)

28年度に実施した 内容・結果	2車線、約300mの仮設道路を整備しました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	合計(14年度~)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	175,571	270,584	17,900	2,024,055	
人件費	千円	2,202	2,230	2,240	36,755	
合計	千円	177,773	272,814	20,140	2,060,810	

3 C<sup>0</sup>

指標名		26年度	27年度	28年度	最終目標 28	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	87.1	99.1	100.0	100(累計)	事業進捗率は、全体工事費を100とした工事費の割合です。		
	実績	85.7	99.1	100.0				
	事業進捗状況(28年度)			○順調 やや遅れ・遅れ				
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(28年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	仮設道路の整備が完了したため、事業進捗状況は順調としました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○	名古屋港の取扱貨物量は増加傾向にあり、保管施設用地の拡充が必要であると考えています。					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	埋立を行い、企業進出用地を整備することは、上位施策である「産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成」に貢献すると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	準備作業の量の増加に関しても、最小の人員で実施し、継続的なコスト削減に努めました。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			仮設道路の整備が完了し、保管施設用地としての用地造成が完了したため。
課題			29年度以降の取組